

令和6年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性																																				
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 冊子・リーフレット・チラシの作成、配布 <table> <tr> <td>ごみと資源の分け方・出し方（保存版、簡易版、4か国語版、全戸配布版）</td> <td>Bunkyoごみダイエット通信（A4判4ページ）※区立小中学校、各施設等に配布</td> </tr> <tr> <td>リサイクル推進協力店リーフレット</td> <td>登録店舗数 42店舗</td> </tr> <tr> <td>ぶんきょう食べきり協力店パンフレット</td> <td>登録店舗数 89店舗</td> </tr> <tr> <td>文京×タベスケチラシ</td> <td>登録店舗数 26店舗</td> </tr> <tr> <td>エコ先生の特別授業リーフレット</td> <td>登録講座数 9講座</td> </tr> </table> 区報を活用した主な周知・啓発事業 <table> <tr> <td>食品ロス削減月間、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」、ごみの分別方法</td> <td></td> </tr> </table> CATVを活用した主な周知・啓発事業 <table> <tr> <td>3R・食品ロス削減推進の取組（フードドライブ、ぶんきょう食べきり協力店、文京×タベスケの紹介）</td> <td></td> </tr> </table> チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」 <table> <tr> <td>・アクセス数 90,846件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・LINEのお友達数 11,951人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・LINEによる情報提供（プッシュ式） 33回</td> <td>（令和7年3月末時点）</td> </tr> </table> その他 <table> <tr> <td>・区内郵便局への食品ロス削減推進事業のポスター・パンフレットの掲示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小石川郵便局及び本郷郵便局 9月30日（月）～10月27日（日）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①フードドライブ自宅訪問受取サービスポスター（B2判）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②文京×タベスケチラシ（A4判）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3R推進月間（10月）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄物の3R推進を呼びかけるポスターを庁内に掲示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・食品ロス削減月間（10月）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食品ロス削減の啓発ポスターを庁内及び区内施設に掲示、区報や各種SNSで啓発、館内放送の実施、職員用電子掲示板で呼びかけ、文京区民チャンネルにて区の食品ロス削減事業を放映</td> <td></td> </tr> </table> 	ごみと資源の分け方・出し方（保存版、簡易版、4か国語版、全戸配布版）	Bunkyoごみダイエット通信（A4判4ページ）※区立小中学校、各施設等に配布	リサイクル推進協力店リーフレット	登録店舗数 42店舗	ぶんきょう食べきり協力店パンフレット	登録店舗数 89店舗	文京×タベスケチラシ	登録店舗数 26店舗	エコ先生の特別授業リーフレット	登録講座数 9講座	食品ロス削減月間、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」、ごみの分別方法		3R・食品ロス削減推進の取組（フードドライブ、ぶんきょう食べきり協力店、文京×タベスケの紹介）		・アクセス数 90,846件		・LINEのお友達数 11,951人		・LINEによる情報提供（プッシュ式） 33回	（令和7年3月末時点）	・区内郵便局への食品ロス削減推進事業のポスター・パンフレットの掲示		小石川郵便局及び本郷郵便局 9月30日（月）～10月27日（日）		①フードドライブ自宅訪問受取サービスポスター（B2判）		②文京×タベスケチラシ（A4判）		・3R推進月間（10月）		廃棄物の3R推進を呼びかけるポスターを庁内に掲示		・食品ロス削減月間（10月）		食品ロス削減の啓発ポスターを庁内及び区内施設に掲示、区報や各種SNSで啓発、館内放送の実施、職員用電子掲示板で呼びかけ、文京区民チャンネルにて区の食品ロス削減事業を放映		<ul style="list-style-type: none"> 小中学生にもリサイクルや環境問題に关心を持つもらうために、分かりやすく読みやすい記事の掲載に努めるとともに、2Rに関するクイズを取り入れるなど、若年層への普及啓発を引き続き実施する。 併せて、現在の環境問題等に関する教育内容や啓発活動について研究を継続する。 リサイクル推進協力店等の登録店舗数の拡充を図るため、文京区商店街連合会等に働きかけるとともに、区内店舗への勧誘も引き続き実施する。 普及啓発活動の場を広げるため、他部署主催のイベント等とも連携し、2Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。
ごみと資源の分け方・出し方（保存版、簡易版、4か国語版、全戸配布版）	Bunkyoごみダイエット通信（A4判4ページ）※区立小中学校、各施設等に配布																																						
リサイクル推進協力店リーフレット	登録店舗数 42店舗																																						
ぶんきょう食べきり協力店パンフレット	登録店舗数 89店舗																																						
文京×タベスケチラシ	登録店舗数 26店舗																																						
エコ先生の特別授業リーフレット	登録講座数 9講座																																						
食品ロス削減月間、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」、ごみの分別方法																																							
3R・食品ロス削減推進の取組（フードドライブ、ぶんきょう食べきり協力店、文京×タベスケの紹介）																																							
・アクセス数 90,846件																																							
・LINEのお友達数 11,951人																																							
・LINEによる情報提供（プッシュ式） 33回	（令和7年3月末時点）																																						
・区内郵便局への食品ロス削減推進事業のポスター・パンフレットの掲示																																							
小石川郵便局及び本郷郵便局 9月30日（月）～10月27日（日）																																							
①フードドライブ自宅訪問受取サービスポスター（B2判）																																							
②文京×タベスケチラシ（A4判）																																							
・3R推進月間（10月）																																							
廃棄物の3R推進を呼びかけるポスターを庁内に掲示																																							
・食品ロス削減月間（10月）																																							
食品ロス削減の啓発ポスターを庁内及び区内施設に掲示、区報や各種SNSで啓発、館内放送の実施、職員用電子掲示板で呼びかけ、文京区民チャンネルにて区の食品ロス削減事業を放映																																							

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 各イベント・講座等の実施状況 【文京エコ・リサイクルフェア】 <ul style="list-style-type: none"> ・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収）、パネル展示、フリーマーケット 11月9日(土)、ギャラリーシビック・アートサロン・区民ひろば・区民会議室にて開催 16団体出展、来場者約1,200人 【ステージ・エコ】※11月9日(土)は文京エコ・リサイクルフェア同時開催 <ul style="list-style-type: none"> ・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収） ギャラリーシビック及びアートサロンにて5回開催（5月10日(金)、7月6日(土)、9月7日(土)、11月9日(土)、2月1日(土)） ・フリーマーケット 11月9日(土) 【文京ecoカレッジ リサイクル推進センター養成講座】 5月15日(水)～6月12日(水) 全5回 受講者11人 <ul style="list-style-type: none"> ① 講師：リサイクル清掃課長 ② 工場見学（光が丘清掃工場） ③ 講師：石丸 亜矢子 氏（一般社団法人循環型経済研究所） ④ 講師：久保 直紀 氏（プラスチック容器包装リサイクル推進協議会） ⑤ 講師：鬼沢 良子 氏（NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット） 【文京ecoカレッジ 夏休みリサイクル見学会】 7月30日(火) 見学先 板橋清掃工場（板橋区高島平9-48-1） 参加者 29人 【文京ecoカレッジ モノ・フォーラム】 3月14日(金)「食品ロス削減と今日からできるエシカル消費」 講師 橋本 祐子 氏（食品ロス削減推進センター） 受講者 13人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民に対し、ごみや環境への関心を高めるため、イベントなど様々な機会をとらえて、3Rや資源の分別について啓発を行う。 ● 今後も効果的な開催時期・実施方法を検討する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	<p>【文京ecoカレッジ エコ先生の特別授業】 5回実施 受講者 延べ88人</p> <p>【集団回収実践団体バス見学会】 開催日 11月20日(水) 見学先 (株)リーテム 東京工場、品川清掃工場 見学者 24人</p> <p>【ふれあい講座】 令和元年度までは、区立小学校等で実施（令和元年度実績：区立小学校16校、筑波大学附属小学校、都立文京盲学校で実施。受講者 延べ1,267人）していたが、コロナ禍以降未実施。</p> <p>【子ども服無料領布会（旧 子ども用品とりかえっこ）】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度まで実施していた「子ども用品とりかえっこ（衣類等の無料交換会）」の開催方法を見直し、事前に回収した子ども服を領布する「子ども服無料領布会」として実施 開催日 ①10月12日(土)、参加数 110世帯、領布数 1,029点 ②2月11日(火・祝)、参加数 190世帯、領布数 2,078点</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部署主催のイベントにおいて、未利用食品の回収（フードドライブ）や子ども服の回収を実施したほか、区で作成した広報物の掲示・配架による普及啓発を行った。（クールアースフェア（環境政策課主催）、子育てフェスティバル（子育て支援課主催）、消費生活展（消費生活センター主催）） 	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発活動の場を広げるため、他部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。
	(3) 地域活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 「緑のごみ銀行」と協働し、文京ecoカレッジ 生ごみ減量塾を開催 春季 6月7日(金)「生ごみ腐葉土の作り方・使い方の講義・実習」 受講者 28人 秋季 11月15日(金)「生ごみ腐葉土の作り方・使い方の講義・実習」 受講者 24人 ステージ・エコにおいて、ステージ・エコ実行委員会と協働し、各種資源回収及びフードドライブ、フリーマーケット（11月のみ）を実施 再掲 文京お届け講座において、区職員が講師として赴き、「文京区の清掃・リサイクルの現状について」や「プラスチック分別回収」をテーマに講演 	<ul style="list-style-type: none"> 過去に開催した際のアンケートの回答や共催団体の意見を取り入れ、参加者にとってより学びのあるイベントにする。 地域で活動する団体との連携による取組を進めていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
2 事業者を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 事業用大規模・中規模建築物を対象に、1年間の廃棄物処理実績報告となる再利用計画書の提出や対象事業用建築物への廃棄物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知及び指導を行った。また、前期の廃棄物管理責任者講習会は、ZOOMによるオンラインと対面でのハイブリッド方式、後期はeラーニングによるオンラインでの開催とした。 <p>【事業用大規模建築物（延べ床面積3,000m²以上）】</p> <p>対象件数316件 再利用計画書提出件数 316件 事業用建築物立入検査件数 82件 廃棄物管理責任者講習会受講者数 120人</p> <p>【事業用中規模建築物（延べ床面積1,000m²以上3,000m²未満）】</p> <p>対象件数327件 再利用計画書提出件数 288件 事業用建築物立入検査件数 84件 廃棄物管理責任者講習会受講者数 144人</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内事業者の参考となる事業系ごみの減量や再利用の積極的な取組について、「真似しよう！事業系ごみ削減プロジェクト」としてまとめた好例集を作成し、建築物の廃棄物管理責任者に配布し、自社や管理物件での廃棄物管理に取り入れてもらうことで、事業系ごみの排出削減とリサイクル率の向上を図った。さらに、令和6年度は新たに3社の取組を区HPに追加掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物立入検査で確認を行ったリサイクルや適正分別の優良取組事例を、eラーニング講習会の中で紹介することと併せ、立入検査時にアドバイスすることで、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。 「真似しよう！事業系ごみ削減プロジェクト」としてまとめた好例集を建築物の廃棄物管理責任者に引き続き配布し、事業系ごみの排出削減とリサイクル率の向上を図る。
	(2) 事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 区内の42店舗が「リサイクル推進協力店」に登録（令和7年3月末時点） 区内の89店舗が「ぶんきょう食べきり協力店」に登録（令和7年3月末時点） 区内の26店舗が「文京×タベスケ」に登録（令和7年3月末時点） 【脱プラスチック製容器等購入費補助金】 補助金の額 補助対象経費の実支出額（上限12万円） 補助件数 9件 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種団体・会議等を通じて周知に努める。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(1) リデュース(発生抑制)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● フードドライブ（未利用食品の回収）の実施 リサイクル清掃課常設窓口及びイベント時の回収のほか、地域活動センターでの出張回収臨時窓口や、区内在住でリサイクル清掃課窓口等へ食品の持参が困難な方向けに「自宅訪問受取サービス」を実施した。 回収した食品は、文京区社会福祉協議会及びNPO法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて、生活困窮者や地域の福祉団体、施設等に提供した。 食品回収量 1,990kg ● レジ袋削減・マイボトル持参の啓発 ● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーン 利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で45人に保冷バッグ（ポーチ）を配付 応募総数 774件（アンケート回答総数 792件） ● フードシェアリングサービス「文京×タベスケ」 登録店舗数 26店舗、登録ユーザー数 1,578人 出品数 17件、取引成立数 6件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロスの削減をテーマとする講演会等の開催やイベント時に実施するフードドライブをとおして食品ロス削減の周知・啓発を行い、リデュース（発生抑制）を推進する。 ● 令和7年度から、区有施設の一部にボトルディスペンサー型水飲栓を設置した。引き続き、マイボトルの活用を呼びかけ、ペットボトルの削減を図る。 ● フードシェアリングサービスの利用を活発化するため、事業者の変更を含め方策を検討する。
	(2) 生ごみ減量活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 【家庭用生ごみ処理機等購入費補助金】 補助金の額 補助対象経費の実支出額に2分の1を乗じて得た額（上限2万円） 補助件数 170件 ● 【文京ecoカレッジ 生ごみ減量塾】 再掲 ● 【文京ecoカレッジ エコ・クッキング教室】 7月26日(金)「親子エコ・クッキング教室」 会場 キッチンランド江東（江東区猿江2-15-5） 講師 エコ・クッキングナビゲーター（東京ガス株） 受講者 26組52人 ● 食品ロス削減レシピの紹介 「エコ・クッキング教室」委託事業者（東京ガスコミュニケーションズ株）協力のもと、食品ロス削減レシピを紹介 ● 【リサイクル清掃課公式LINE】 生ごみ減量塾や家庭用生ごみ処理機等購入費補助金についてプッシュ通知で紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請状況に合わせて、予算額などを検討し、多くの区民に補助できるようにする。 ● 生ごみ減量塾の受講者の更なる開拓と、状況に応じてオンライン講座も開催する。 ● 生ごみ減量塾やエコ・クッキング教室で、食品ロスについて啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3家庭系の3Rの推進	(3) モノを長く使うライフスタイルの促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ステージ・エコでフリーマーケットを実施（11月のみ） 再掲 ● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーンにおいて、保冷バッグ（ポーチ）を配付 再掲 	<ul style="list-style-type: none"> ● フリーマーケットの開催回数を検討する。
	(4) リユース（再使用）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 【ステージ・エコ】 再掲 ● 【フードドライブ】 再掲 ● リサイクル推進協力店の各店舗の取組情報やPRポイント等を区HPに掲載 42店舗 ● 株式会社ジモティーと「リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結し、区報や区HPに掲載することで地域の情報サイト「ジモティー」を通じたリユースを推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ステージ・エコ実行委員への情報提供やステージ・エコ会場にて広報物の掲示を行う。 ● 各種広報媒体を活用し、登録店舗の取組内容を区民に紹介する。 ● リユースの活性化に向けた取組を進めていく。
	(5) 集団回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収の更なる拡充と活動の支援に努めた。 実践団体数 587団体 ● 集団回収に関する記事を掲載したBunkyoごみダイエット通信を配布し、多くの区民に周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体に対し、引き続き支援を行う。
	(6) 資源回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロール（時間外早朝を含む）を実施した。 ● ステージ・エコで小型家電9品目、小型の金属類、水銀使用計器類の回収を行った。また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を行った。 ● リサイクル清掃課に回収ボックスを設置し、携帯電話・スマートフォンの回収を行った。 ● 令和7年4月のプラスチック分別回収事業開始に向けて、区民説明会を27回開催するとともに、共同住宅の管理人や管理会社には、個別訪問や通知を送付して説明を行った。また、区報、区HP、SNS、動画等による情報発信に加え、冊子「ごみと資源の分け方・出し方」及び事業周知ちらしの全戸配布や集積所看板の表示変更等による事前周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去りについては、効果的な連携のあり方や対策等を各関係機関と検討していく。 ● 小型家電9品目、小型の金属類、水銀使用計器類の回収は、現在の回収方法を継続とともに周知活動を行っていく。 ● 携帯電話・スマートフォンに含まれる金属等の貴重な資源を取り出し、有効活用する。 ● 更なる区民のリサイクルに対する意識の向上を図るため、プラスチック回収量や分別協力率、分別による可燃ごみの削減量などを適宜区報や区HP、SNS、イベント等を活用して分かりやすく発信していくとともに、引き続き、町会等からの希望による出張説明会を実施するなど周知啓発を行い、3Rに対する区民の意識向上を図っていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模・中規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> 事業用大規模・中規模建築物を対象に、1年間の廃棄物処理実績報告となる再利用計画書の提出や対象事業用建築物への廃棄物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知及び指導を行った。また、前期の廃棄物管理責任者講習会は、ZOOMによるオンラインと対面でのハイブリッド方式、後期はeラーニングによるオンラインでの開催とした。 再掲 <p>【事業用大規模建築物（延べ床面積3,000m²以上）】</p> <p>対象件数316件 再利用計画書提出件数 316件 事業用建築物立入検査件数 82件 廃棄物管理責任者講習会受講者数 120人</p> <p>【事業用中規模建築物（延べ床面積1,000m²以上3,000m²未満）】</p> <p>対象件数327件 再利用計画書提出件数 288件 事業用建築物立入検査件数 84件 廃棄物管理責任者講習会受講者数 144人</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内事業者の参考となる事業系ごみの減量や再利用の積極的な取組について、「真似しよう！事業系ごみ削減プロジェクト」としてまとめた好例集を作成し、建築物の廃棄物管理責任者に配布し、自社や管理物件での廃棄物管理に取り入れてもらうことで、事業系ごみの排出削減とリサイクル率の向上を図った。さらに、令和6年度は新たに3社の取組を区HPに追加掲載した。 再掲 	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても東京二十三区清掃一部事務組合が管理する清掃工場への不適正搬入が頻繁に確認されている。そのため、排出事業者に排出責任を認識させ、適正分別を徹底するよう引き続き働きかける。
	(2) 小規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> 文京区リサイクル事業協同組合が、R（リ）サークルオフィス文京利用事業者の回収で使用する専用回収袋を作成し、支給、支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もRサークルオフィス文京の事務局である文京区リサイクル事業協同組合や印刷製本組合に対して、支援事業を継続する。
	(3) 区の率先した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 文京シビックセンター内の自動販売機では、プラスチックごみの削減を推進するため、飲料水以外はペットボトルではなく缶飲料を販売している。 区内各課にBunkyoごみダイエット通信を配布し、職員全体への周知・啓発を行った。 食品ロス削減について、啓発ポスターを区内に掲示し、職員用電子掲示板で呼びかけ、職員全体への周知・啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックごみ削減に向けた発生抑制の啓発を実施する。 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を実施する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業について、引き続き実施した。	● 本事業については、全体的に浸透してきており、今後も効率的かつ効果的な運営に努める。
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収を行っている品目については、事業者への引き渡しについての周知を図った。	● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と引き続き連携を図る。
	(3) 適正排出の推進	● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 10,093件 ● リチウムイオン電池などの小型充電式電池・小型充電式電池内蔵製品の窓口回収を実施した。	● 不適正排出者に対しては、今後もふれあい指導による適切な指導、相談業務を行う。 ● リチウムイオン電池などの小型充電式電池・小型充電式電池内蔵製品の適正排出を促していく。
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	● 適正な収集運搬、処理、処分が行われるよう、一般廃棄物処理業者に対して許可や更新時に指導等を行った。 ● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、大規模及び中規模建築物立入検査時の冒頭に、文京区廃棄物処理及び再利用に関する条例に定められている「排出事業者の責務」を必ず説明している。	● 一般廃棄物処理業者への情報提供については、電話で随時対応する。
	(5) 中間処理・最終処分	● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源回収、焼却灰のセメント原料化など、中間処理段階でのリサイクルを行った。	● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場に埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(6) 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、6団体と締結している災害時のし尿及び災害廃棄物に関する収集・運搬、処理・処分の協力協定、23区及び清掃一部事務組合間で締結している災害廃棄物の共同処理等に関する協定について、細目等の策定を行った。 ● 「文京区地域防災計画」の見直しを踏まえ、「文京区災害廃棄物処理計画」の見直しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、特別区災害廃棄物処理対策ガイドラインの見直し等について検討する。 ● 特別区災害廃棄物処理対策ガイドラインの検討状況等を注視しながら、必要に応じて、「文京区災害廃棄物処理計画」の見直しを行う。
	(7) 感染症発生時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年7月に策定した「新型インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症の発生時における文京区廃棄物処理事業継続計画」に基づいた対応を実施した。 ● 新型コロナウイルス等感染症対策のためのごみの捨て方及びごみの収集作業時等における安全確保について、周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の感染予防を講じるとともに、感染状況に応じて事業継続計画に基づいた対応を行う。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	<ul style="list-style-type: none"> 【リサイクル清掃審議会 第9期】 5回開催 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）の進捗状況やごみ量、プラスチック分別回収事業に係る区民周知等について報告・審議した。 【リサイクル推進センター連絡会】 1回開催（12月6日（金）） センター活動に関する情報提供や意見交換を通じて、センター相互の交流を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 3R普及・啓発について考える機会を継続的に設けていく。 リサイクル推進センターが主体となった3R推進活動について、具体的な活動につながるような支援を検討する。
	(2) 国等への要望	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会の形成を図るため、廃棄物処理施設整備計画に掲げられた目標達成に向け、所要の財政的措置を講ずることなどを、大都市清掃事業協議会を通じて国へ要望した。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別区は、事業系ごみの占める割合が高い廃棄物処理施設の用地確保が難しいなど、大都市特有の問題を数多く抱えており、適切な役割分担と負担を引き継ぎ国へ要望していく。
	(3) 行政内部での連携	<ul style="list-style-type: none"> 環境政策課が区報に掲載した「文京版クールアース・デー」の記事に、食生活とエコに関する具体的な取組を掲載し啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の連携部署に加え、各事業で関連部署との連携・協力を図る。
	(4) 処理費用負担の検討	<ul style="list-style-type: none"> 23区清掃リサイクル主管課長会「廃棄物処理手数料改定検討会」において、廃棄物処理手数料原価の確認・検証を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行の手数料の上限は46円/kgだが、原則4年ごとの手数料見直しに向けて、「廃棄物処理手数料改定検討会」において、検討を続ける。
	(5) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ごみ量や資源量、コストに関する情報のほか、文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）や文京区災害廃棄物処理計画、文京区リサイクル清掃審議会の開催についてもホームページ等にて公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業概要やホームページ、Bunkyoごみダイエクト通信等で、引き続き情報公開を行う。